袖　師　地　区

カ　ル　テ

データについて

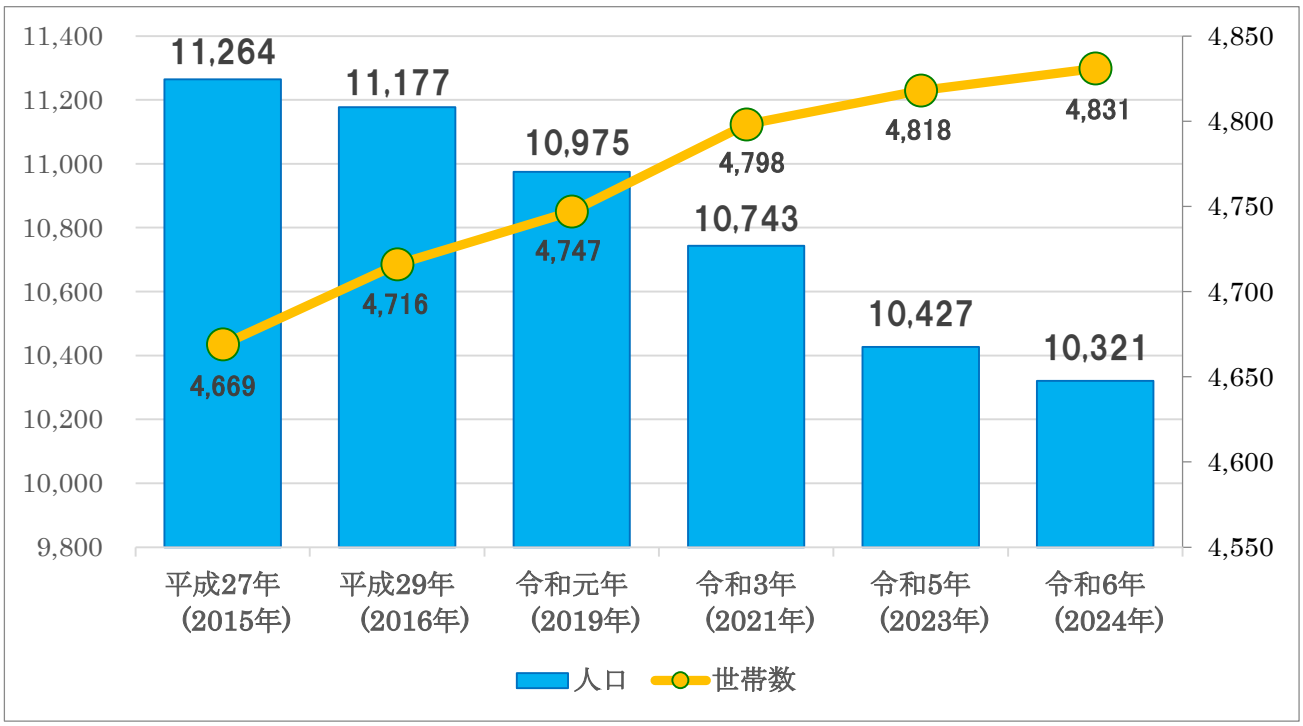
・カルテは住民基本台帳と自治会加入統計を利用しています。

・住民基本台帳は各年の 3 月 31 日の数値、自治会加入数は各年の 4 月 1 日の数値です。

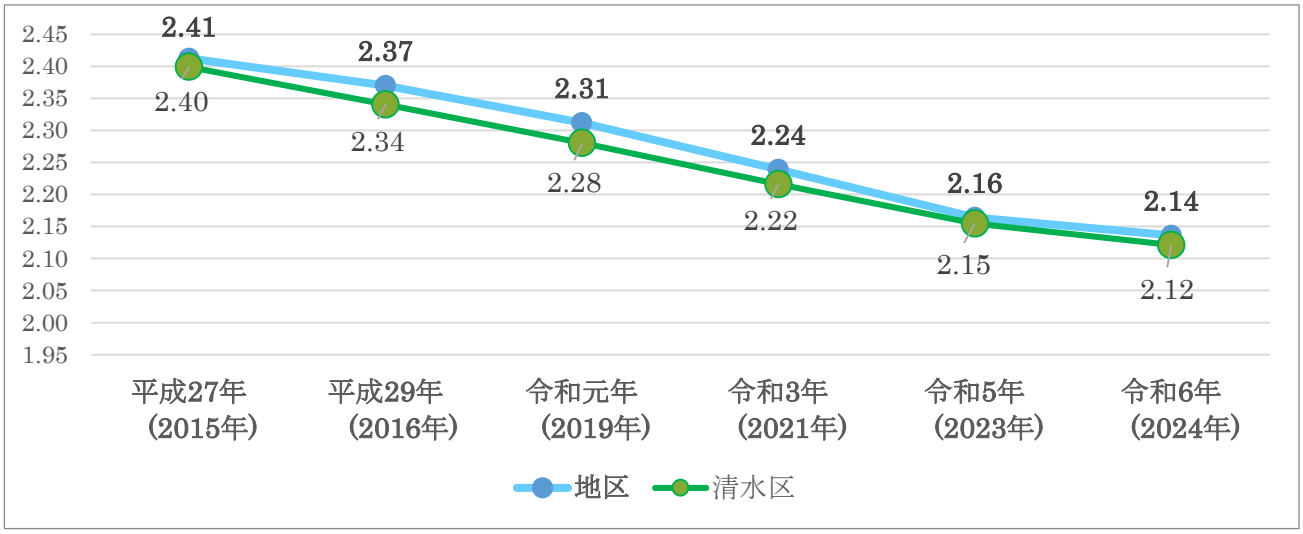
・町名は住民基本台帳を採用しているので、自治会名と一部異なる場合があります。

袖師地区の人口特性　令和 6 年 3 月　10,321 人　4,831 世帯　2.14 人/世帯

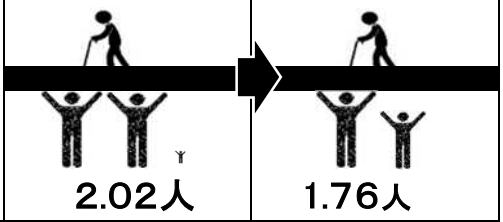
●人口・世帯数の推移



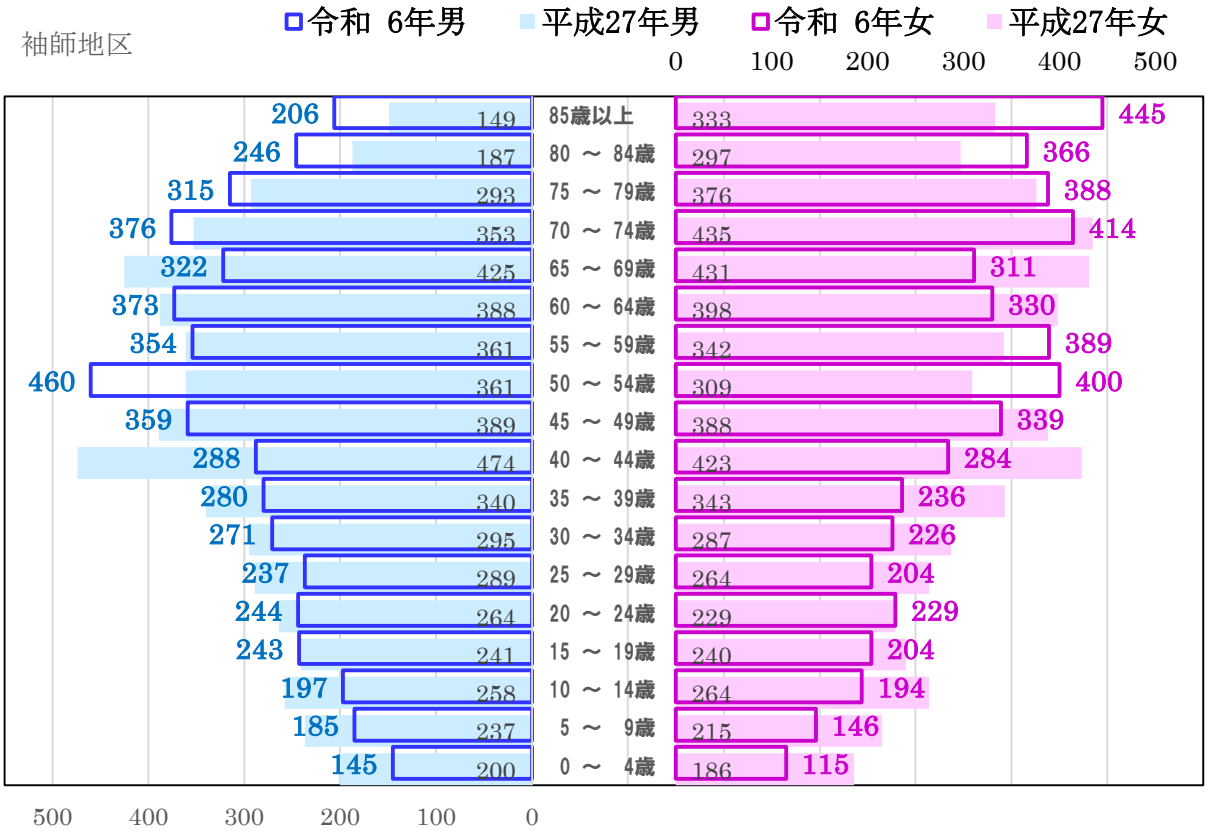
●一世帯当たりの人口推移



●65 歳以上の高齢者を支える生産年齢層（15-64 歳）

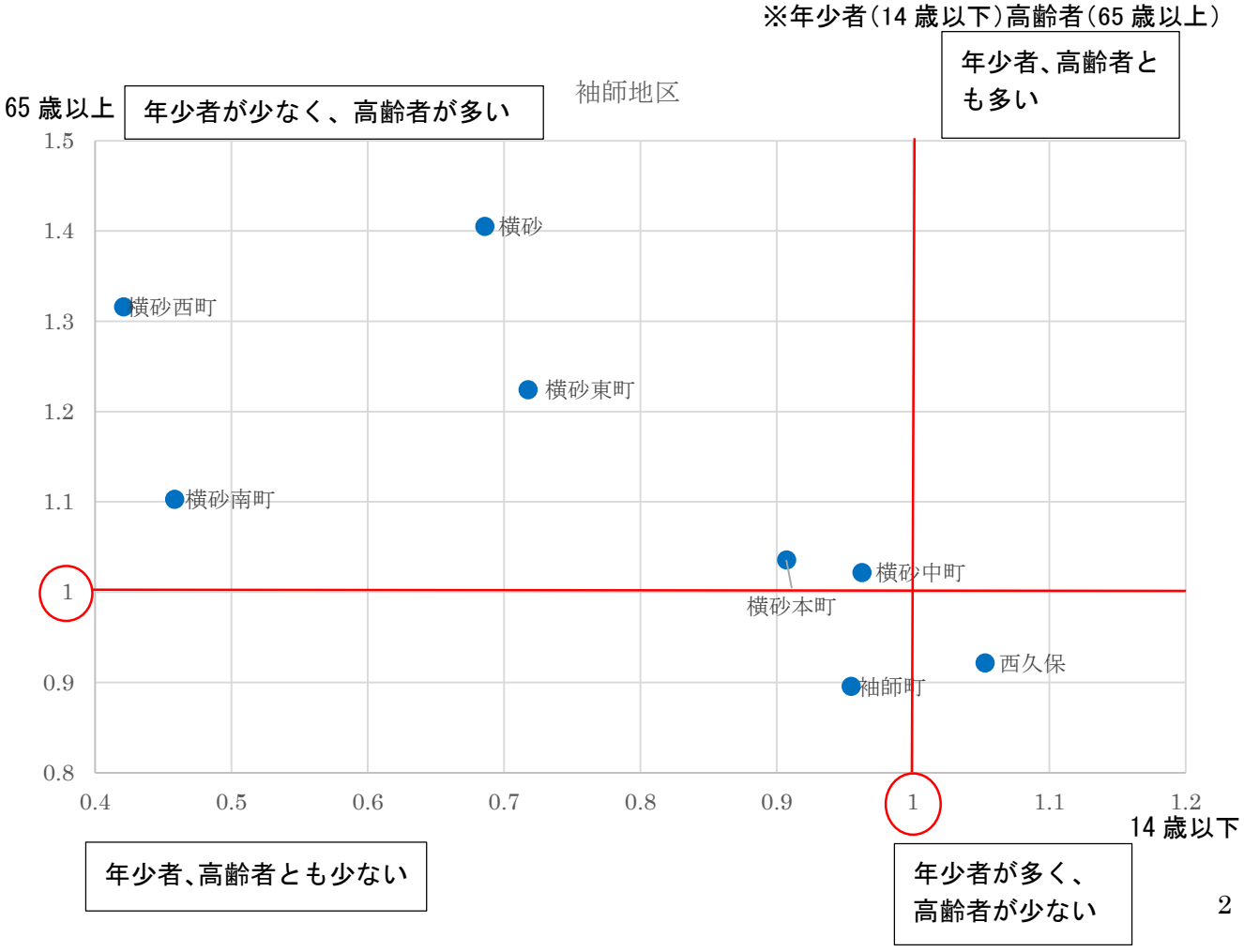
区　分	平成 27 年（2015 年）	令和 6 年（2024 年）
地　　区	 2.02人	1.76人
静岡市	2.16 人	1.87 人
清水区	1.98 人	1.70 人

●人口ピラミッド【平成 27 年（2015 年）と令和 6 年（2024 年）の 5 歳階級別男女別構成】



●町別の 14 歳以下と 65 歳以上の割合分布（清水区の平均値を１とした場合）

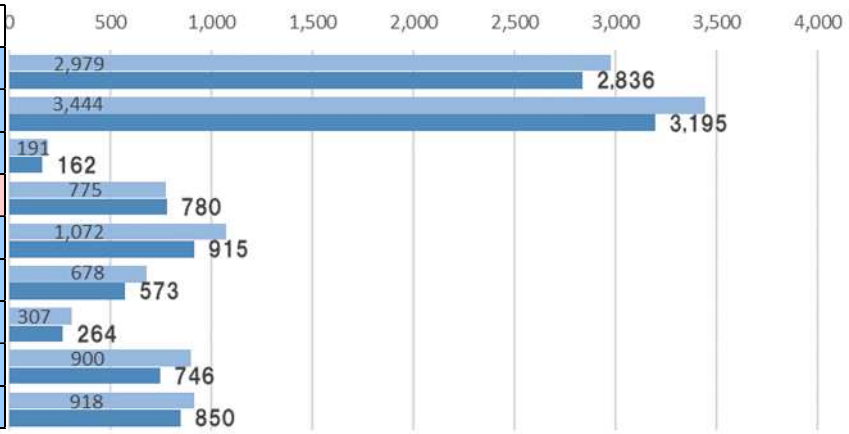
※年少者（14 歳以下）高齢者（65 歳以上）



●町別の伸び率と人口推移

【平成27年（2015年）と令和6年（2024年）の比較】
人口推移グラフ（上段平成27年　下段令和6年）

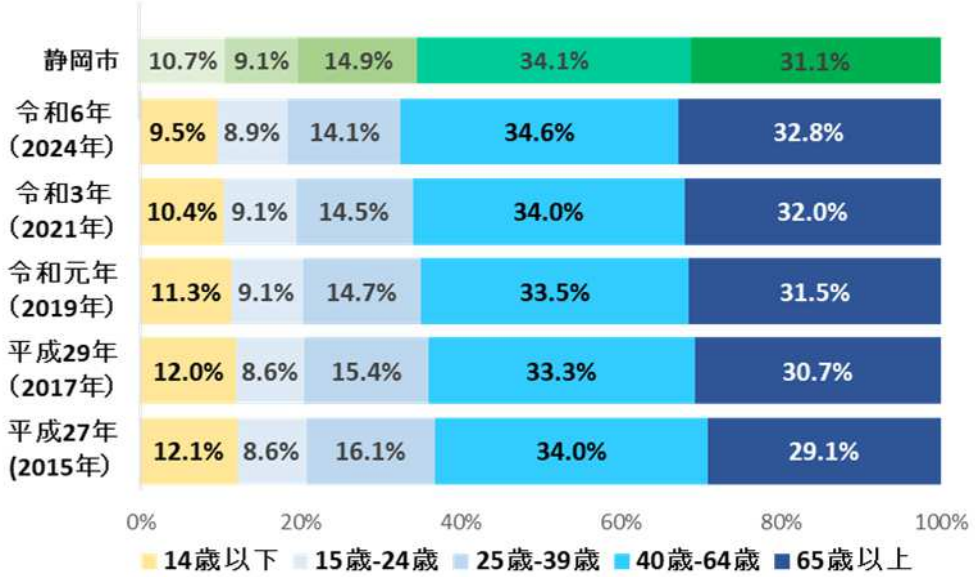
町名	伸び率
袖師町	-4.8%
西久保	-7.2%
横砂	-15.2%
西久保一丁目	0.6%
横砂東町	-14.6%
横砂南町	-15.5%
横砂西町	-14.0%
横砂本町	-17.1%
横砂中町	-7.4%



		人　　口	
		平成 27 年（2015 年）	令和 6 年（2024 年）
袖師地区	**−8.4%**	**11,264**	**10,321**
静岡市	−5.3%	713,564	675,610

●町別人口区分別割合

・年齢５区分別人口割合の推移



※15-24 歳は高校から社会人（大学修士課程含む）　25-39 歳は社会人（大学博士課程含む）

・令和６年人口３区分別：

市の割合より

青字　14 歳以下の割合が低い場合

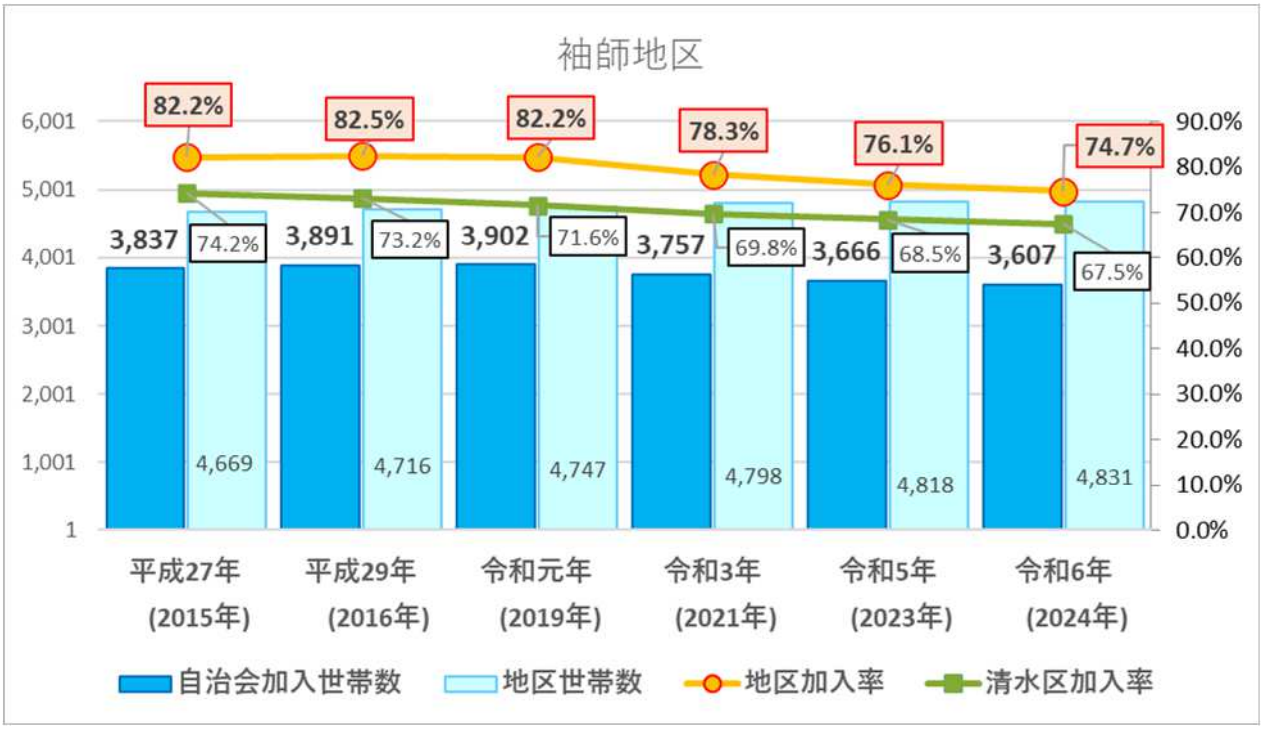
赤字　65 歳以上、75 歳以上の割合が高い場合

町 名	令和6年階級別割合		
	14歳以下	65歳以上	そのうち75歳以上
袖師町	9.4%	29.9%	17.1%
西久保	10.4%	30.8%	18.2%
横砂	6.8%	46.9%	26.5%
西久保一丁目	15.4%	29.9%	16.3%
横砂東町	7.1%	40.9%	24.0%
横砂南町	4.5%	36.8%	19.9%
横砂西町	4.2%	43.9%	25.8%
横砂本町	9.0%	34.6%	20.4%
横砂中町	9.5%	34.1%	20.6%
袖師地区	9.5%	32.8%	19.0%
清水区	9.8%	33.0%	19.3%
静岡市	10.7%	31.1%	18.0%

●自治会加入状況

令和６年

加入率	地　区	74.7%	加入世帯数	3,607 世帯
	清水区	67.5%	住民基本台帳世帯数	4,831 世帯



袖師地区コメント

・人口は減少傾向を示し、世帯数は増加傾向にあります。世帯人数が減少していることから、単身世帯や小家族化が進んでいるようです。

・人口減少地区はほとんどですが、西久保一丁目が微増しています。

・令和 6 年の 65 歳以上を1人支える生産年齢(15 歳から 64 歳)が市の 1.9 人より少ない 1.8 人で減少傾向にあり、若い世代の地区や自治会活動等への負担が増えることが見込まれます。

・さらに、自治会の加入率は区の値 68%より高い 75%ですが、年々減少傾向が見られます。40 歳から 64 歳の自治会活動等で中心的に活躍を期待される層の減少も見られますが、50 代は増加しています。

袖　師　地　区

地名のゆかり

平安時代から「袖師が浦」と呼ばれる海岸が袖師地区にはありました。なぜ「袖師が浦」と呼ばれたかは分かりませんが、あえて想像すれば「し」は「海面に突き出た岩」も意味しますから、昔、衣ののような形のごつごつした岬があったのでしょう。

庵原国が栄えたころ、袖師の集落は上嶺にありました。今に残る神明山古墳は、この一族の墳墓で、嶺という地名は神明の丘を指したものと言われています。一方、横砂は、平安時代から栄えた清見寺の影響を受けながら発展しました。

歳月が経過して、庵原川が運んだ土砂で海岸地帯が広がると、袖師の人たちは、次第に部落を海の近くに移し、現在の東海道沿いを開拓していきました。

このように発展してきた嶺村、西久保村、横砂村は、明治22年に合併し、風光明媚な海岸「袖師が浦」の名をとって「袖師村」と名付けました。

袖師海岸の松並木
（昭和初期）

神明古墳群

袖師の神明神社付近では４個の古墳が発見されています。そのうち、４号墳はほぼ原形のまま、東亜燃料のクラブハウス内に保存されています。ここからは鎧や刀剣や全国的にも珍しい馬につける鈴などが発見されています。この古墳群で発見された物のいくつかはクラブハウス内に展示されています。

一葉松の碑

昔、袖師が浦の松は、なぜか一葉松が多かったそうです。その松林の中、現在の庵原川河口の一葉橋から東へ100mほど行った所にある「一葉松の碑」は、一葉松にまつわる悲恋物語をしのんで建てられたものです。

旭日の勢で京へ攻め上がり、征夷大将軍になった木曽義仲は、寿永３年（1184）、義経らのために討たれました。そのとき、先に人質として鎌倉へ送られていた一子義高も、入間川原で切られてしまいました。その義高には、鶴姫という、幼い頃からの許嫁があったのです。姫は義高を慕って京から鎌倉へ向かう途中、疲れと病のため袖師が浦で倒れ、これを哀れんだ浄見長者のいおりで、静養していました。そこでの明け暮れ、姫は義高の安否を気遣っていましたが、ある日風の便りに義高が切られたことを知り、「心なき松も二葉で散るものを　などてかひとり住み残るべき」という句を残して、暮れ行く袖師が浦に、若い身を投じました。それ以来、ここの松は、一葉になったと伝えられています。

碑は、昭和 32 年、この伝説を長く伝えようと、袖師町の人たちの手で建てられたものです。

袖師海岸近くの一葉松の碑

庵原川桜まつり

地域の貴重な景観である庵原川の自然と、先人が育てた見事な桜並木を大切にし、水辺を生かした美しく住みよいまちづくりを推進するため、袖師地区約4,000世帯、12,000人の力を結集して、仲良く楽しい祭りが毎年開催されています。

桜まつりの様子

袖 師 音 頭 （昭和30年４月　作詞：若杉雄三郎）

1、ハア　富士の雪さえよ　富士の雪さえ、袖師をながめ
　ソーダソーダナントショノショー　とけて　ゆきたや　あの浜へ
　キテゴーキテゴーエエヂャンカ　ソデシソデシデ　エエヂャンカ
　オマッチャ　ナニシタ　ナントショノ　ショー
2、ハア　恋の浄瑠璃よ　恋の浄瑠璃　相染め見染め
　逢えばなんにも　庵原川　（以下囃子同じ）
3、ハア　昔しのべばよ　昔しのべば　波多打川よ　小雨けむるか　小糠山
4、ハア　秋葉火祭りよ　秋葉火祭り　胸さえ　こがす　なんで　あなたは もえぬやら
5、ハア　すすき　すすき島よ　すすき　すすき島　のぞいた月も　今じゃ　タンクの上に出る
6、ハア　袖師音頭でよ　袖師音頭で　ふくらむ袂　月も出ました　まんまるく

「真如寺の岩船じぞう」

袖師町のお地蔵さんの寺、「真如寺」に伝わる お話しです。

今から250年ぐらい前のことです。大嵐によって漁師は遭難し、悪病も流行し、村中とても困っていました。

ある日、和尚さんが寝ていると夢枕にお地蔵さんが現れ、「興津のさった峠沖の岩の上にいるから、祀るように」とのお告げがありました。

和尚さんは翌朝、村の人たちとさった峠に行くと、夢の中のお地蔵さんがお供をつれて岩の上に座っておられました。

さっそく寺に運びお祀りすると、激しかった波もおさまり、病気も治り村人たちは大変喜びました。

このお地蔵さんは岩の上にいたので、「岩船地蔵」といわれ、人生の荒波を乗り越えて幸運つかむというので、開運地蔵尊として多くの人々の信仰を集めました。

かたりべクラブ提供